

土地利用変化と旧河道での災害 Natural disaster triggered by landuse change on the former river course

春山 成子^{1*}
HARUYAMA, Shigeko^{1*}

¹ 三重大学大学院生物資源学研究科
¹Mie University

利根川下流平野の干拓地でも緊急干拓事業で陸化した地域は2011年3月11日の地震で液状化被害が発生した。利根川の旧河道および旧河道と砂州の境界部分で多くの液状化がみられる。液状化地区の被災程度は地下水位・地盤状況、地形環境が要因であるが、近年の地形変形と土地利用の変化は液状化地区に差異をもたらしている。そこで、液状化地区の脆弱性を評価してみることにした。液状化発生地域に関わる脆弱性を評価するに当たり、各メッシュマップの重ね合わせに各々5つの脆弱性評価のレベルを与えた。また、地盤情報、地形分類図のメッシュマップ、土地利用変化図のメッシュマップとの重ね合わせでは、旧河道に当たる地域および旧河道と砂州の境界部分、干拓地における近年の土地利用変化で住宅地に変更された地域でのリスクは大きく表示されることになった。

キーワード: 旧河道, 土地利用変化, 災害, 評価
Keywords: former river course, landuse change, disaster, assessment